



小沢氏を任意聴取

東京地検 土地取引 4億円問題

小沢一郎・民主党幹事長の資金管理団体「陸山会」をめぐる政治資金規正法違反容疑事件で、東京地検特捜部は23日午後



小沢一郎・民主党幹事長

後、東京都内のホテルで、小沢氏本人に対する任意の事情聴取を始めた。土地取引や購入原資4億円などに小沢氏がどのように関与していたかの解明が焦点だ。事件捜査は大きな山場を迎えた。

特捜部は今後、小沢氏の供述内容について、近く最高検など上級庁にも報告する予定で、捜査方針を検討するとみられる。

今月5日に特捜部が、解明のためには小沢氏の任意の事情聴取が不可欠として要請したが、小沢氏側に拒否され、17日に再要請。最初の要請から18日後にようやく事情聴取が実現した。

陸山会の会計責任者だった公設



小沢一郎・民主党幹事長が滞在しているとみられるホテル。23日午前11時20分、東京都千代田区、川村直子撮影

第1秘書・大久保隆規(48)、いずれも元秘書で事務担当者だった衆院議員・石川知裕(36)、池田光智(32)の3容疑者は、2004年10月に東京都世田谷区の宅地を約3億5千万円で購入した際、原資4億円などを政治資金収支報告書に記載せず、同法違反(虚偽記載)の疑いが持たれている。